



10月2週が終わりました。

各教室からはタンバリンやカスタなどのリズム打ちの音が流れて来て、年長組の教室からはハーモニカの曲がこれ迄以上に流れて来ます。この時期、すっかり発表会へ向けてのモードに切り変わりました。でも、年長児たちはドッジボールと新しい目標のとび箱の練習のほほまです。

■年長児の社会体験です…。

年長児たち108円を握りしめてダイソーへ。

「自分の好きなものを買っていいんだよ!」と言われてみんなワクワクドキドキです。

一目散に自分が欲しいものに手を伸ばす子。

あれこれと店の中を歩きまわり思案気な子。

「さあ、そろそろ帰る時間だよ!」

言われても、まだ決められない子。

レジは長蛇の列。

ママへのプレゼントを買う子と…♡



■年長児たち、カエルの唄、メリーさんの羊、キラキラ星などの曲は、クラスではほぼ

クリアしたようで、これからは発表会へ

向けてレベルの高い曲への練習がはじ

まっております。

ハーモニカから口を離さずに

一曲を吹き終る事を目標に

して、こどもたち小さな自分の

コンピュータをフル回転させて

おります。

■卒園児から

おてがみ届きました。

その一部を原文のまま載せました。

心の空ピカピカです♡

すみかわ小学校  
2ねん3くみ  
ヤコウけんたろう  
ゆうたろうのこころ  
うなはなに行きました。  
とてきかわいかったです。  
す。かけっことてき  
たのしかったです。  
おかし、ありがどうニ  
ゲいました。  
なつかしい友だちに会  
えて、とてきうれしか  
ったです。  
また行きたいです。  
いいですか?

## 心の育ち

京都の山嵯峨野と言えど、壮大に広がる竹林で有名です。陽もあまり差さないその竹林に200メートルに亘って続く竹林の道と呼ばれる散策出来る道があります。

「これだけの沢山の竹ですが、育ち方は1本1本違ってバラバラなんです。伸びの早い竹とあればゆっくりのんびり伸びていく竹もあるんです。でも最後はこのように同じ背丈になるんです」と地元のオの説明。

こども  
この話を聞いて、幼児の育ちと竹の育ちも同じなんだな…と思いました。

こども  
これ迄の45年間、5000名を超える幼児たちが巣立っていきました。

その育ちは全て一緒ではなく、同じではありませんでした。

早い子と居ればゆっくりのんびりの子と沢山居ました。

ややとすると「うちの子あれが出来ない!」「これが遅い!」と他の子とくらべてしまいがちなお母さん達。子は親の背を見て育ちます。

幼児期の経験が力になり、次の児童期から少年期へと育ちはまだまだ続くのです。

厳しさと温かさを交じえながら我が子の心を育てましよう。